

経営指導員が発見! キラ★星企業

No.98

姫路商工会議所には様々な業種や規模の事業所が加入されています。
そのなかで、当所経営指導員が出会った「キラッ」と光る事業所の取り組みをご紹介させていただきます!



ブルーラベルマッチ



株式会社日東社
ノアイントアステージ



FABRIC SIGNAGE



展示会ブースデザイン



商品展示

転換期とマッチの価値を再発見

1923年の設立以来、長きにわたってマッチ製造を手掛けてきたが、時代の変化とともに需要は大きく減少した。この逆境の中、家業へ戻った大西専務は、2023年に紙製品事業を譲渡する転換期を迎える。マッチ事業の再興と新規事業開発へ大きく舵を切った。そこで、マッチを単に火をつける道具、つまり『機能的価値』だけでなく、『情緒的価値』を持つプロダクトとして捉え直した。

新ブランド「ブルーラベル」の誕生

その象徴が、1年半の開発期間を経て生まれた新ブランド「ブルーラベル」。タバコや仏壇用といった従来のマッチの商標柄を生かしつつ、ブルーとホワイトでインテリアやギフトとしても楽しめるよう、洗練されたデザインを追求した。この新ブランドには、老舗企業ならではの技術が注ぎ込まれている。かつて広告用として様々な色の要望に応えていたマッチの頭薬（頭の色）の技術を活かし、更にこれまで行ってこなかった軸木の染色にも挑戦。

トップダウンではなく、社員一人ひとりの意見を尊重し、全員で同じ目標に向かう姿勢を大切にすることで、他社には真似のできない商品が生まれた。

展示会出展が拓いた新たな可能性

「ブルーラベル」の市場性を確かめるため、同社は2025年6月、インテリアの展示会「インテリア ライフスタイル」*へ出展。ツバメのロゴを大きく配置しただけの斬新なブースデザインで多くの来場者の注目を集めめた。結果は想像以上のもので、アパレルショップ、インテリアショップ、大手書

伝統産業のアトツギが描く未来
→ブランド再構築と新規事業への挑戦→

株式会社日東社
専務取締役
大西潤

店など、これまで接点のなかった業界から100社を超える企業と名刺交換ができる、具体的な商談へも進んだ。マッチがこれまで認知されていなかった市場があることに気づく機会にできたという。この成功を受け、「ブルーラベル」は日本でマッチ生産が始まってから150周年を迎える2025年11月に正式販売を開始することになった。

挑戦は続く、新規事業と未来への展望

挑戦はマッチに留まらない。販促品事業で培ったノウハウを活かし、店舗のインテリアとしても映える小型のおしゃれな「FABRIC SIGNAGE（のぼり）」を開発。課題の「本質」は何になるのか？というマーケットアウト（新市場創造）の発想から生まれた新商品である。また、3年前に生産を終了したブックマッチ（紙製マッチ）がSNSで話題となり、クラウドファンディングで復刻させた経験も、大きな財産となっている。これらの経験も、顧客との繋がりや新たな可能性を再認識する貴重な機会だと改めて感じた。

最後に、「これからは、コトづくりを目指し、姫路の地場産業として、学生や異業種と連携し、オープンファクトリーなどの地域貢献活動にも積極的に取り組むことで、新たな価値を創造していきたい」と語った。

*ギフト商材から家具、服飾雑貨まで「衣・食・住」に関わるブランドが集まり、これからのライフスタイルを提案する東京ビッグサイトで開催された商談見本市。

DATA

事業内容：マッチ・ライター・のぼり・販促品の企画製造販売
所在地：〒672-8014 姫路市東山524
TEL：079-246-1561
HP：<https://www.nitto-sha.co.jp/>